

○ 調査対象地



○ 用語解説

「土壌溶出量基準」

汚染土壌から特定有害物質が地下水に溶出し、その地下水を 70 年間、1 日 2 リットル飲用することによる健康影響を考慮して設定

○ 鉛の健康影響について

化合物によって毒性は異なりますが、高濃度の鉛による中毒の症状としては、食欲不振、貧血、尿量減少、腕や足の筋肉の虚弱などがあります。人が鉛を体内に取り込む可能性があるのは、飲み水や食物によると考えられます。体内に取り込まれた鉛は血中などに分布したあと、90%以上が骨に沈着します。主に尿に含まれて排せつされますが、体内の濃度が半分になるには約 5 年かかり、長く体内に残ります。

(出典：環境省水・大気環境局「土壌汚染に関するリスクコミュニケーションガイドライン」)

○ 水銀の健康影響について

人が水銀及びその化合物を体内に取り込む可能性があるのは、水銀の場合は呼吸、水銀化合物の場合は食物や飲み水によると考えられます。口から取り込まれた場合には、水銀はほとんど吸収されずに、そのままの形で便や尿に含まれて排せつされます。呼吸によって取り込まれた場合には、血液を通して全身に運ばれ、二価水銀へ酸化されてから、尿や便に含まれて排せつされ、約 1～2 カ月で半分の濃度になるとされています。水銀化合物である塩化水銀 (II) では、口から人の体内に取り込まれた場合の吸収率は平均 5～7% とされ、主に尿や便から排せつされます。半分の濃度になる期間は水銀とほぼ同じです。

(出典：環境省水・大気環境局「土壌汚染に関するリスクコミュニケーションガイドライン」)